

【南区】令和3年第2回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年6月11日（金） 午前10時45分～11時25分
場 所	南区役所7階 701～703会議室
出席者	<p>【座 長】 渋谷健議員</p> <p>【議 員：3名】 遊佐大輔議員、仁田昌寿議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：24名】 松山弘子区長、富井孝副区長、 野崎直彦福祉保健センター長、 滝本潔福祉保健センター担当部長、 角野智史土木事務所長、今山徹消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員18人</p>
議 題	令和3年度個性ある区づくり推進費 執行計画等について
発言の 要 旨	<p>【遊佐議員】 資源循環事務所と土木事務所に関してですが、コロナ禍で手袋やウェットティッシュなどを使う機会も増えているのではないかと思います。そのような物品の購入に関しては、積極的に支援していかなければならないと思っておりますが、何か困っていることがあれば教えてください。</p> <p>【大橋 土木事務所副所長】 手の消毒液やマスクなど、特に物品のことでは困っておりません。 しかし、最近は暑くなってきましたので、作業中にマスクをしていると熱中症になってしまうため、作業員同士の間隔が取れる場合は、マスクをはずして作業をするようにしていますが、市民の方から「作業中にマスクをしていない」というご指摘を受け、苦勞することもございます。その場では、「作業中は熱中症になる心配もありますのでご容赦ください」と説明しておりますが、パッと見た時にマスクをしていないと、色々ご指摘を受けることがございます。</p> <p>【須賀 資源化推進担当課長】 南事務所でも、局から定期的にマスクが送られてきますので、物品について特段困っていることはございませんが、土木事務所と同様に、マスクを着けないで作業をしていることに対し、市民の方からかなり厳しい目で見られることもございます。誰もいない所ではマスクをずらしてもよいので、熱中症に注意するよう伝えていますが、市民の方と接する際や、収集車に乗車している時は、必ずマスクを着けるよう徹底しています。</p> <p>【遊佐議員】 これから暑くなりますし、消毒なども大変だと思いますが、何かよいアイデアがありましたら、私も提案していきたいと思っております。</p>

次に、個店への支援ですが、商店街ではなく、個別の店を支援すべきではないかと申し上げてきました。例えば、前回の会議で、南区内でデリバリーやテイクアウトができるお店の一覧を作ったらよいのではないかと申し上げたのですが、まだ「見える化」されていないようです。現在検討しているのか、いないのかを含めて、進捗状況を教えてください。

【姫浦 地域振興課長】

テイクアウト、デリバリーの一覧表ですが、ホームページには載っておりますが、まだ紙媒体は作っていないのが現状です。今後考えてまいりたいと思っております。

【遊佐議員】

蒔田地域で、民間の方々が「食べ歩きマップ」のような物を作っていたと思います。そこまで立派な物を作るのは難しいかも知れませんが、手上げ方式で構わないので、何かそのような形で作っていただければと思っております。

【荒木議員】

今年度の地区懇談会では、以前に配布された防災マップを使って、非常に分かりやすい説明をしていただいておりますが、できれば配った直後にやっていたら、もっと効果的だったと思います。

6ページの防災啓発事業ですが、資料に書かれている「防災に必要な知識等のパネル」は、どのくらい作るのでしょうか。

また、コロナ禍で、防災拠点の運営委員会の会議も開催されていませんが、昨日の地区懇談会を聞いていて、拠点の運営委員のメンバーを把握できていないようで少し心配になりました。1回顔合わせ程度はしておいたほうがよいと思っておりますが、指導していただけますか。

【森田 総務課長】

今年度に作成する啓発パネルの件ですが、何セット作るかなどの細かい部分はまだ決まっておられません。昨年度は、区でパネルを持っておらず、防災センターから借りて対応していただきましたので、今年度は、区独自のパネルを作ろうと思っております。防災月間など、展示機会が重複すると思いますので、複数セット作ることを考えていきたいと思っております。

次に、防災拠点の運営委員の件ですが、拠点の運営委員長に集まっていたく連絡協議会という会議があります。昨年度は書面会議で、顔合わせもできませんでしたが、今年度は、人数を絞って5月27日に開催いたしました。運営委員長には出席していただき、情報交換や情報共有はさせていただきます。

その中で、「1回だけ会議を開催しても、その後は、拠点へ情報があまり来ないので、自分の拠点の事しか分からない」というご意見もございましたので、今年度は、協議会とは別に、運営委員の方に集まっていただき、新たに情報共有の場を設けたいと思っております。

発 言 の 旨

最後に、ご指摘いただいた防災マップの周知の件ですが、昨年度は、出前講座も全くできませんでしたので、今年度は、密にならないような対策を取りながら、できるだけ多くの方に周知等をしていければと考えております。

【荒木議員】

是非、よろしくお願いします。

次に、8ページの区民スポーツ支援事業ですが、昨日、私たちが市長あてに申し入れをしたパブリックビューイングについて伺います。8区が実施するというので、南区も中村地区センターの体育館で行われるとのことですが、感染リスクを考えると、人を集めて行うタイミングが果たして適切なかどうか。判断は、区ごとに任されているのでしょうか。

【姫浦 地域振興課長】

市民局に確認したところ、区ごとではなく、市全体として統一的な判断を行うとのことでした。

【荒木議員】

確かに見たいし、みんなで集まったら気持ちはよいと思いますが、どうしても密になってしまいますし、声を出したくなるのは避けられないので、市としてパブリックビューイングを開催することが、果たして適切な点かという点では、検討課題であり、配慮があるのではないかと考えています。

次に、12ページの特定健診受診率向上事業について伺います。コロナ禍で、がん検診も含めて健診率が上がらず苦慮されているようですが、南区はもともと特定健診の受診率も低いので、更に拍車をかけているのかどうか、分かる範囲で教えてください。

【金澤 保険年金課長】

昨年度の受診状況ですが、令和2年度の4月から1月までの受診率の速報値では、南区は16%で残念ながら18区中18位、一昨年度の同時期の受診率も20.4%で同じく18位でした。横浜市全体では、昨年度の受診率が18.4%、一昨年度が22.6%でした。

1回目の緊急事態宣言時に、特定健診の実施自体をストップしておりましたので、かなり影響が出ており、受診率の低下が見られている状況です。

【荒木議員】

啓発をしても、コロナ感染が広がっている中でリスクの高い所には行きたくないということが起きているので、引き続き、色々なパターンで健診を受けてくださいと伝えていただくしかないと思います。よろしくお願いします。

次に、障害者サポート事業の中に、新規事業として「地域精神保健家族会に対し、同じ立場にあるアドバイザーの支援」と書かれていますが、こ

発言の旨

のアドバイザーというのは、どのような立場の人で、どれくらいの頻度で支援が可能なのか教えてください。

【石川 高齢・障害支援課長】

この支援については、これまでも区単位の家族会として、お互いの情報交換という形で進めてきましたが、家族会の活動が難しくなっており、市の家族会等のご協力をいただき、ご家族の方でご説明いただける方を派遣していただく予定です。

【荒木議員】

事前に予約をして、アドバイスに来ていただくということでしょうか。

【石川 高齢・障害支援課長】

区の家族会は毎月活動を行っており、その中で、アドバイザーに来ていただける月を予めご案内させていただき、その月にご参加いただくようお願いする予定です。

【荒木議員】

精神障害の方々への地域支援は難しいですが、引き続きよろしくお願ひします。

次に、19 ページの管理不全空家対応モデル検証事業についてですが、南区もこのような家屋が散見されます。私たちも相談を受けるのですが、現場調査、所有者調査、専門家派遣までいくまで、どこが窓口となって対応していただけるのか教えてください。

【宮崎 区政推進課長】

空家でお困りの方の区役所の相談窓口は、区政推進課になりますので、私どもにご連絡いただければと思います。空家の状態が、例えば樹木が繁茂している、害虫に困っているなど、様々な状態かと思っておりますので、内容をお伺いしたうえで、土木事務所や生活衛生課など、関係する部署と連携しながら調査いたします。

建築局がマニュアルを作っており、空家ということが確認できましたら、特措法に基づいて税の照会ができますので、所有者を特定する手続きに入り、対応をお願いするという流れでございます。

【荒木議員】

以前もお願いして、とても早く対応していただいたので、引き続きアナウンスをしていただければと思います。

続いて 21 ページです。まだまだコロナ対策で家庭ごみの量が増えていますし、最近では、カラス被害がかなり深刻になっています。ごみネットだけだと、どうしても風が強い日は散乱してしまうので、もう少し対策をしてもらえればと思います。同じ場所で起きているので、そのような情報をインターネットなどでお知らせしたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

発 言 の 旨

【須賀 資源化推進担当課長】

おっしゃるとおり、南区の至る所でカラスだけではなく、小動物に荒らされる事例が起きています。ネットボックスに変えていただく方法が一番よいのですが、ネットボックスは高額な物もありますので、まずは試していただいて、もし使い勝手がよければ、地域で購入していただくという一時貸出の制度を皆さんにお知らせしております。

【荒木議員】

日ごろから大変なお仕事をしていただいて、本当にありがとうございます。皆さん体が資本なので、お気をつけていただきたいと思います。

次に、戻って 12 ページの自殺対策ですが、この啓発ポスターの掲出のような事業はありがたいと思います。鉄道事業者も大変苦勞されていて、何かよい方法はないかと皆さんが感じていると思います。この啓発ポスターや、SOSをどこかに繋げるようなQRコードなど、何か有効な方法はないでしょうか。

【中村 福祉保健課長】

特にコロナ禍の影響を受けて、自殺のリスクが高くなっていると聞いております。昨年度から、駅のご協力をいただき、緊急でポスターの掲示を行っており、本年度も継続して行っております。

その他、職員がゲートキーパーになるための職員向けの研修も行いまして、窓口対応をする中で、悩みに気づき、声を掛けて、相談機関に繋げるような人材育成にも力を入れていきたいと考えております。

【荒木議員】

引き続き、自殺を思い止まってもらえるような方法を皆で考えていきたいと思っております。

最後に 23 ページの防犯啓発活動について伺います。相変わらずオレオレ詐欺や特殊詐欺が減らない状況です。この資料にある「迷惑電話防止機能付き電話活用支援」は、どのくらいの件数を考えているのか、また、申込先は区役所でよいのか教えてください。

【姫浦 地域振興課長】

この事業は、昨年、警察から連携して取り組まないかと熱心にお声かけいただき、実行対応で電話をお配りしたものです。現在、モニターの方からアンケートを回収しており、FAXが使えなくなってしまう、機能が難しいなどのご意見をいただいております。アンケート結果を踏まえたうえで、警察とよく連携し、秋頃には新たな手法で取り組みたいと思っております。

【荒木議員】

分かりました。ありがとうございました。

【仁田議員】

予算案をお示しいただいてから、新年度に入ってまだそれほど時間がたっていないので、今回は実施計画を伺うということですから、しっかり今後とも進めていただければと思います。

1点だけ伺います。18ページの地域連携情報発信事業について、先日、六ツ川地区では、リモートとリアルのハイブリッドで地区懇談会が行われ、地区懇談会の中でも初めての試みで大変よかったと思います。

このICT機器の体験講習や機器の貸出という事業に関して、現在の進捗状況と今後の実施計画を教えてください。

【姫浦 地域振興課長】

南区では、講習会と機器の貸出をセットで行っています。講習会につきましては、コロナによる休止もあり、昨年10月以降、5回実施し、15団体の方が南区役所にお越しいただき、講習を受けられました。また、タブレットの貸出については、4団体の方々に地域でお試しいただいております。

今後についてですが、コロナ禍で、なかなか区役所にお越しいただくのが難しいので、場合によっては、区役所から地域にお伺いして、ご要望の場所で講習を開催したり、過去に実施した講習をDVDにして、地域の方々にご活用いただくなどの方法を考えております。

もう一点は、地域ケアプラザや地区センターなどの区民利用施設の方々と連携して、ICTの普及に取り組んでまいりたいと思っております。

【仁田議員】

地域ケアプラザや地区センター、いわゆる区民利用施設へのWi-Fiの設置は、私どもとしても、全市的に進めるべきだと言っています。Wi-Fiが整備されることが一つの大前提になるので、今後も有効な活用を是非検討いただければと思います。

コロナ禍という大きな転換点で、ICTを広めたきっかけになるかと思いますが、通常の生活に戻った段階で「ICTはもういらぬよね」となってしまうのはもったいないと思っています。実際に集まってコミュニケーションを図ることもさることながら、逆にリモートだからこそ活動を広げられる可能性もあることを様々な機会実感しています。

ICTをうまく活用していく団体や組織は、相当、情報の浸透が進むと思いますので、粘り強く、前向きな取組をお願いします。

【渋谷議員（座長）】

最後に私から伺います。

昨年確認しましたが、執行できない、南まつりの五百数十万円や、南なんデーの二百数十万円など、7～800万円の未執行となる予算は、どのようになるのですか。

発言の
要旨

【森田 総務課長】

昨年もご説明させていただきましたが、予定していた事業が中止等になり、予算が執行できなくなった、いわゆる事業見直し分については、コロナ対策経費に充てて執行しております。詳しい決算等につきましては、次回の9月の会議でご説明させていただきます。

【渋谷議員（座長）】

市に返してしまうのではなく、個性ある区づくり推進費として使えるということですね。

【森田 総務課長】

はい、そういうことです。

【渋谷議員（座長）】

分かりました。

次に、11 ページの通訳ボランティアの配置について、去年も中国語と英語だけでは足りないのではないかという話をしたと思います。タブレット端末の設置について新規事業と書かれていますが、去年は執行せずに、今年新規で行うということですか。

【宮崎 区政推進課長】

昨年度は、タブレットを実行対応で導入しましたが、今年度は予算要求を経て正式に計上したということで、新規にしております。

通訳ボランティアは、英語と中国語を話せる方に来ていただいておりますが、タブレットについては、ニーズが多いタガログ語など 15 言語程度に対応しており、かなり需要がある状況です。

【渋谷議員（座長）】

去年は予算を計上しないでタブレットを導入したということですか。

【宮崎 区政推進課長】

はい。国際局が補正予算で、タブレット等を各区に配布してくれたのですが、南区は、それでは足りなかったので、不足台数について個性ある区づくり推進費で実行対応いたしました。

【渋谷議員（座長）】

分かりました。

ほかにご質問はありませんか。

それでは、本日の議題は終了といたします。